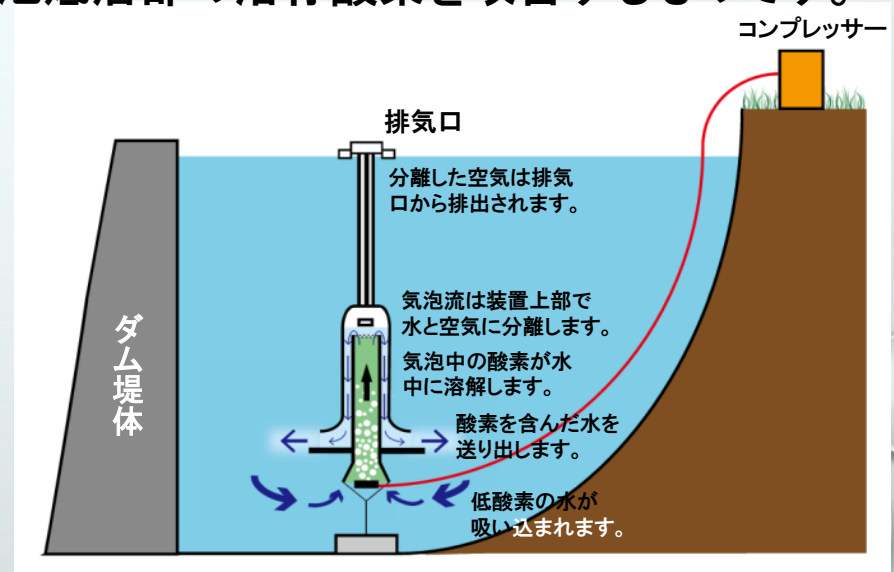
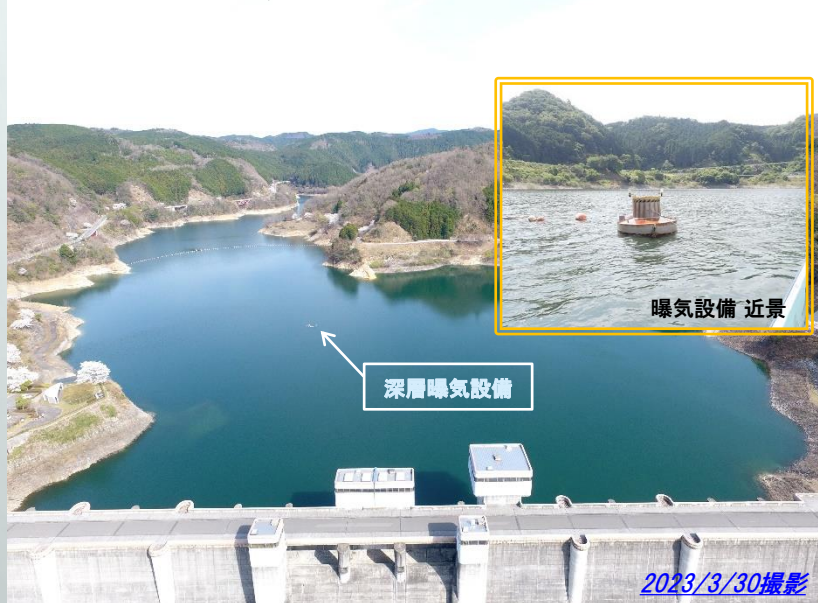


(お知らせ) 令和5年5月11日より深層曝気設備の運転を開始しました。

貯水池底層の溶存酸素低下を抑制するため、令和5年5月11日より深層曝気設備の運転を開始しました。

深層曝気設備は、溶存酸素の乏しい貯水池底層部に空気を送り込み、底泥に含まれる栄養塩等(窒素、りん等)の溶出に伴う水質悪化を抑制する施設です。

仕組みとしては湖岸に設置されたコンプレッサーから空気を装置底部に送り、水と空気を混合させ装置から送り出すことで、貯水池底層部の溶存酸素を改善するものです。



深層曝気設備の仕組み(イメージ図)※

※ コンプレッサーで送り込んだ空気は貯水池底層の溶存酸素を改善した後、装置上部で水と空気に分離し、空気は排気管を通しダム水面上にある排気口から排出しています。